

## 4 . 最近の技術業務の紹介

### 4.4 安全確保に向けた取り組み

## リスクコミュニケーション

技術アドバイザリー国内委員会（第8回）  
及び専門委員会合（合同開催）

2006年10月16日（月）

原子力発電環境整備機構(NUMO)

## 紹介内容

1. 今回の紹介の目的
2. HLW処分事業に対する理解促進に向けて
3. HLW処分事業を円滑に進めるために
4. リスクコミュニケーションに向けての取り組み
5. リスクコミュニケーション研修
6. 研修で得られた成果
7. 今後の取り組み

## 今回の紹介の目的

- H L W処分事業に関するリスクコミュニケーション(R C)研修を通じた調査・分析結果から、今後、原環機構(N U M O)がR C活動において具体的・継続的に取り組むべき方策を明らかにした。

## H L W処分事業に対する理解促進に向けて

### ■ NUMOの基本方針

一般公衆、地域住民から最終処分事業に対する理解獲得とNUMOとの信頼関係を醸成する。

### ■ 行動規範

積極的な理解獲得と信頼関係の醸成

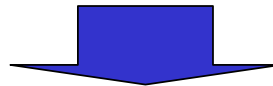
情報公開

コミュニケーション手法の採用

(リスクコミュニケーション、双方向対話活動)

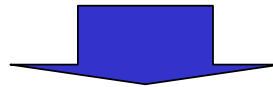
## H L W処分事業を円滑に進めるために

- 処分事業に対する一般公衆、地域住民からの理解獲得と信頼関係の醸成が不可欠



その為に重要なのは・・・

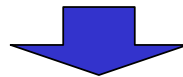
- 国内及び国外に認められる技術力の確保
- 様々なステークホルダーとの対話活動の推進



- ➡ 処分事業推進に向けたリスクコミュニケーションへの取り組み

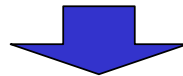
## リスクコミュニケーションに向けての取り組み

- HLW処分事業推進の核は、住民の信頼獲得と対話である
- 鍵となるのは、相手(ステークホルダー)の要望を明らかに出来るかということである。



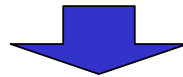
その為には...

- NUMO職員が適切な対話を行う能力が必要である。



but...

- 対話活動を通じてのリスクコミュニケーションの経験が少ない。



**処分事業者としてのHLW処分事業のリスクコミュニケーショントレーニングの重要性**

## リスクコミュニケーション研修

### ■ (目的)

NUMO職員を対象にしてHLW処分にテーマを絞ったリスクコミュニケーション(RC)研修を実施し、その結果から今後のRCの実践に向けてのポイントや取り組み方策を明らかにする。



### ■ NUMO職員(技術系、非技術系職員)を対象にしたRC研修トレーニングの実施(2日間)



### ■ HLW処分RCマニュアルの作成(現在作成中)

### ■ RC支援システムの検討(現在作成中)



### ➤ NUMO職員のRC能力向上とRC支援システムの構築

# リスクコミュニケーション研修

|     | 実施内容                                                                                                                                                     |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1日 | <b>[講義]: リスクコミュニケーションに関する基礎的要件の再確認</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● R C の基本的考え方や R C の成否要因について</li> <li>● リスクメッセージの作成や伝達の際の留意点 など</li> </ul> |
|     | <b>[演習]: リスクメッセージを作る</b><br><b>(目的)</b> 一般住民等からの質問に対して文章で回答する際に、どのような点に留意すべきかを確認する。<br>(個人検討 - グループ検討 - グループ発表 - 全体討論)                                   |
| 第2日 | <b>[演習]: リスクメッセージを伝える</b><br><b>(目的)</b> 一般住民等と質疑応答・意見交換をする際に、メッセージの伝え方等についてどのような点に留意すべきかを確認する。<br>(模擬ミニ集会での質疑応答 - VTR収録 - 収録VTRの再生・相互批評 - 全体講評)         |
|     | <b>[演習]: 対象者の利害・関心をつかむ</b><br><b>(目的)</b> 関係者の利害・関心の把握を演習を通して試みる。<br>(模擬対話集会でのロールプレイ - 合意形成内容の相互発表 - 利害推測と全体討議)                                          |

## 研修で得られた成果

- 今後のリスクコミュニケーション活動において具体的に取り組むべき方策
- 処分場の建設・操業(輸送)等の身近な将来に対する安全性の説明
- 環境保全問題の説明
- エネルギー戦略、原子力発電、再処理などHLLW処分以外の概念の説明

## 今後の取り組み

- H L W処分事業におけるリスクコミュニケーションの継続的な実施に向けた活動
  - NUMO職員のRC能力を維持するために、引き続きRC研修を実施していく。
  - RC活動にあたっては、H L W処分事業におけるRCマニュアル(作成中)を活用していく。
  - RCを実践的に支援するためのPCを使用したRC支援システム(構築中)を活用していく。